

第2回

新宿区次世代育成協議会

平成30年10月15日(月)

新宿区子ども家庭部子ども家庭課

午前10時30分開会

○事務局 皆さま、おはようございます。

本日はご多忙のところご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

ただいまから、平成30年度第2回新宿区次世代育成協議会を開催いたします。

初めに、定足数を確認させていただきます。

(定足数確認)

次に、資料の確認をさせていただきます。

(資料確認)

続きまして、この度人事異動に伴いまして、委員の方に変更がありましたのでご紹介いたします。

(委員紹介)

次に、当協議会の会長であります吉住健一新宿区長からご挨拶申し上げます。

○吉住会長 おはようございます。大変お忙しい中、お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

平成30年度第2回新宿区次世代育成協議会を開会させていただきます。

今年は、地震や集中豪雨、台風による大きな被害が各地で発生しました。特に、6月に発生しました大阪府北部地震では、小学4年生の女の子が倒壊したブロック塀の下敷きになり、命を落とされました。また、その子どもの擁護のために向かっていた高齢者の方もまた塀の下敷きとなりまして、尊い命を失ってしまったという事件がございました。

区といたしましても、大至急通学路をチェックし、それが終わった後は区内全域の道路に面したブロック塀のチェックをさせていただきました。既にどのブロックが危険であるかということはある程度特定をして、持ち主の方に注意喚起をさせていただいています。費用やタイミングの問題など、非常に困難なこともございます。小学校の前で所有者が新宿にお住まいでない場所では、何度も足を運びまして最終的に撤去に同意いただき、撤去させていただきました。

また、今年は酷暑で、プールの水が熱くなりすぎて入れないという状況が発生し、体育館もプールも使えないということになりました。そこで、今、議会開催中ですが、今後、小・中学校の体育館、武道館に関しましては、空調をできるところから整備していきます。どうしても、屋根の構造上の問題や隣接地との関係で室外機の設置が難しい場合は、しっかりと精査しながら対応していかなくてはならないと思っています。ただ、牛込第一中

学校に関しましては、全校給食をやっておりますので、早急に対処する方針を固めさせていただきました。

次代を担っていく子どもたちが、健やかに育つ環境を実現するために、関係機関や地域の皆さまとの連携をより強化してまいりたいと思っています。

防犯面に関しまして、5月に新潟で下校中の小学2年生の女の子が殺害される事件が発生しました。防災対策にあわせて防犯の面においても、子どもたちが安全、安心に暮らせるための課題を再確認し、教育委員会とともに、登下校時を中心とした子どもの防犯対策に取り組んでまいりたいと思います。

今年度は、次世代育成支援計画を策定するための調査を実施する重要な年となります。7月に開催しました第1回次世代育成協議会におきまして、部会を設置させていただきましたが、これまで部会を2回開催し、調査の実施方法等についての検討を行っていただいたと伺っております。

本日の会議では、その内容もご報告いただきまして、今後の調査の実施や計画の策定に活かしていきたいと考えております。活発なご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

○**事務局** それでは、次に、当協議会の事務局を担当しております子ども家庭部職員を紹介させていただきます。なお、本日は教育委員会事務局から教育調整課長が出席しております。
(子ども家庭部職員、教育調整課長紹介)

○**事務局** それでは、議題に入らせていただきます。

新宿区次世代育成協議会条例第3条第2項では、この協議会の会長は区長となっております。これからは、次第に沿って区長が進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

○**吉住会長** ここからの議事につきましては、私が座長を務めさせていただきます。進行につきまして、ご協力のほどお願い申し上げます。お手元の次第に従いまして、進めさせていただきます。

議題、次世代育成支援に関する調査について、事務局から説明をいたします。

○**事務局** それでは、資料1-1より説明させていただきます。「1 調査の種類、調査数等」につきましては、区分ア、イの新宿区次世代育成支援に関する調査の調査数について、当初各1,800としておりましたが、より正確なニーズ量の調査結果を得るために、記載のとおり調査数を増やしております。また、当初8つの調査すべてにおいて、同一世帯への重複調査を行わないこととしておりましたが、区分ウとエの小学校5、6年生とその保護者、区分オとカの中学生とその保護者の調査におきましては、親と子の調査対象の家庭状況が同じ

である方が親子の調査結果を比較しやすいことから、それぞれ同一世帯への親子への調査といたしました。

次に、「2 調査票を作成するうえでの基本的な考え方」でございますが、新設以外の調査は、平成25年度実施いたしました前回調査を基本としながら、他の調査等で代替できる不用な設問は削除し、必要な設問を追加するという形で設定しております。

また、新規調査でございます区分ウ、エの小学校5、6年生及び保護者調査につきましては、年齢階層が引き続きます区分オ、カの中学生及び保護者調査と一貫性のある設問としております。

「3 今回調査の視点」でございますが、今回調査におきましては、新たに3つの視点を加え調査を設計いたしました。視点1としまして、2019年10月から予定されております幼児教育無償化によるニーズ増等を的確に把握することです。視点2といたしましては、区の子育て支援事業・サービスの情報が、支援を必要とする人に確実に届いているのか、また、利用されているのかを把握するものです。視点3としまして、生活、学習、生活習慣等、子どももの日常的な暮らしの状況、子ども自身の意識について、より詳細に把握いたします。

これら3つの視点を各調査区分の調査の変更点としてまとめたものが、次ページの「4 前回調査との主な変更等について」の表でございます。アは、就学前児童保護者向けのニーズ調査でございますが、視点1の幼児教育無償化の項目や、視点2の子育てに係る支援・サービスに関して、必要とする人に情報が届き、利用されているかの把握を含め、ニーズ調査を行います。イは、小学生保護者のニーズ調査で、視点2の充実を図っています。ウ以下の調査につきましては、視点3の充実を図っています。

「5 今後の主な予定」でございますが、11月上旬までに調査票を確定し発送準備を行うとともに、11月5日号の広報しんじゅくに調査への協力依頼記事を掲載いたします。なお、区民等への周知につきましては、このほかホームページや区ツイッター、児童福祉施設でのポスター掲示、校園長会や保育園長会での説明も行う予定です。そして、11月13日に調査票を発送いたします。

「6 その他」でございますが、調査区分ア、イは、子ども・子育て支援法に基づくニーズ量を把握する調査であり、ニーズ量を特に正確に捉えることが必要であることから、外国人家庭への対応として、日本語のほか、英語、中国語、韓国語の調査票を用意し、配付可能といたします。

次に、資料1-2をご覧ください。上の表は調査のねらいや主な内容を右側の8つの調査

区分ごとに●で表示整理したもので、備考欄に充実とあるのは、先ほどの視点を追加している調査内容でございます。下の表は、日常の状況や意識の把握に関する調査内容と、現行計画の目標との関係を整理したものです。

次に資料1－3をご覧ください。こちらは8つの調査の設問の項目と、設問内容を整理したものでございます。表中にございます「問No.」は、資料1－4の調査票の設問番号となっています。なお、資料1－3と1－4につきましては、今後修正する可能性のある案として、お示しさせていただいています。

1枚目（ア）と2枚目（イ）の調査が、事業や支援等の利用状況やニーズ把握を目的とした調査となっており、「家族の状況」から「職場の両立支援制度」までは共通の質問を設定し、それ以降は対象ごとの設問内容となっております。それぞれの調査で今回、追加した主な項目を説明いたします。

アの就学前児童保護者調査においては、幼児教育無償化の影響把握のため、問19から問19－2までの3つの項目を追加しています。また、子育てに係る支援サービスのニーズ把握をより充実するため、問27を追加しています。

イの小学校保護者調査においては、同じくニーズ把握をより充実するため、問29を追加しています。

ウの小学校5、6年生調査はすべてが新規ということになりますが、基本的にオの中学生調査と同様の設問をしています。前回の中学生への調査に追加した項目をご説明いたしますと、日常生活や自己肯定感の調査を充実するために問8－1、問9－1、問11、問14を追加し、学習の習熟や習慣、食事等の生活習慣等の調査を充実するために問17から問20－1、問23から問27を追加しています。また、避妊や薬物に関する設問は小学生調査からは除外しています。

エの小学校5、6年生保護者、カの中学生保護者調査につきましても、調査項目はほぼ同様で、保護者から見ました子どもの日常生活や生活習慣、学習の状況、子どもとのかかわり方の設問を充実するために、問12－1から問18、問20から問22－1を追加しています。

なお、カの中学生保護者調査につきましては、このほか、制度、サービスの認知度やニーズ量の把握の観点から問36も追加しています。

キの青少年調査につきましては、日常生活や学校生活、自己肯定感の意識を把握するため、問8－1、9－1、12、16、17を追加し、食事等の生活習慣把握のために、問18、19を追加しました。

最後にクの若者調査でございますが、こちらは日常の生活状況や過去のつまづきの経験を把握するために、問11、14、15を追加しました。

次に、資料1－4は、今ご説明いたしました8種類の調査の未定稿の原稿となっております。こちらにつきましては、部会においていただきましたご意見も含め、検討と作業を進めている途中でございます。主な変更点につきましては、ただいま資料1－3で説明いたしましたので、個々の説明は省略させていただきます。

○吉住会長 説明は終わりました。

7月9日に開催しました平成30年度第1回次世代育成協議会におきまして、次世代育成支援に関する調査及び次期計画案を調査、審議していただくことを目的として部会を設置させていただきました。これまで、8月31日と10月9日の2回にわたりまして、部会を開催し検討していただきました。委員の皆さまのご意見、ご質問を伺う前に、部会での検討内容について福富部会長から報告をお願いします。

○福富部会長 今、区長からお話があったように、部会は8月31日と10月9日の2回開催いたしました。大変活発なご意見をいただき盛り上がったところです。

第1回の部会は主に、今日の資料1－1、1－2、1－3の調査の大枠について活発に検討がなされました。続いて、第2回の部会では、今日の資料1－4の前段階の資料が提示されまして、個々の項目について細かいところも含めて活発な議論がなされました。

この調査は次の計画策定にあたっての調査ということで、前の調査の時と経年的な比較をするため、よほどのことがない限りそれを踏襲するという、それから、特にニーズ量調査については国からかなり細かな指針が提示されているため、新宿区のかかなり独自の事情がない限りにおいてはそれを尊重するということの2つが確認され、その上でかなり具体的な検討がなされました。部会の日1日だけでは終わりませんで、火曜日に部会が開かれたのですが、金曜日までに気がついたことをメール等で送ることとして、活発なご意見をいただきました。

その中のご意見を具体的に紹介しますと、「ダイエットしていますか」との質問があり、これをめぐって活発な議論がありました。医者から言われた健康上のダイエットもあるだろうし、スポーツ等で減量のためのダイエットもあるだろうし、もっとスリムになりたいという unnecessary ダイエットもあるだろうし、ダイエットといっても色々なダイエットがあるのではないかと。食育に関する区の行政ということで考えるならば、unnecessary ダイエットに目を向けたいのですが、それをどのように言語化するかということについて、様々なご意見をいた

だき調整中です。

また、今回の調査では、ニーズ量を調査するために、学童クラブ、放課後子どもひろば、児童館の3つの事業の内容、違いを知っていただくこと、また、幼児教育、保育の無償化がどういうことなのか知っていただくことも重要です。

さらには、前回の協議会部会での提言を受けまして、区で様々な事業がなされているけれども、区民にどこまで周知されているのかということ、どのような方法で区民に周知することが重要なのかということについて、ご意見をいただきたいというような項目もあわせて加えたところでもあります。また、答えたくない児童について配慮し、答えたくない質問には答えなくてもいいとの文言も加えたらどうかのご意見もいただきましたし、多岐にわたって細かい文言の検討が進んでいるところでもあります。

部会員の皆さんには、短期間で申し訳なかったのですが、それにもかかわらず、非常に貴重なご意見をいただいたことに改めてお礼したいと思います。

○吉住会長 ありがとうございます。

ただいま、事務局からの説明、そして、福富部会長からの部会での検討内容についての報告がございました。委員の皆さまからのご意見やご質問をお伺いしたいと思います。ご意見、ご質問のある方は挙手をお願いいたします。なお、恐縮ではございますが、発言の際にはお名前をよろしくお願いいたします。

○委員 このアンケートを答えるのに、どれ位の時間がかかるものと想定しているのでしょうか。

○吉住会長 では、事務局からお願いします。

○事務局 30分から40分位かかるのではないかと考えています。

○委員 あまり時間がかかるアンケートですと、回収率の低下につながると思うのですが、目標とする回収率と回答時間を比べて、この位で妥当という判断なのでしょうか。

○吉住会長 事務局、お願いします。

○事務局 どうしても聞かなくてはならない設問もあり、できる限りスリムな形にしています。可能な範囲で回答していただければと思っております。

○委員 ちなみに、前回調査の時には、どの位の時間がかかるという結果でしょうか。

○吉住会長 事務局、お願いします。

○事務局 おおむね同じ時間と考えていますが、前回の方が設問数が少し多くなっていますので、その点では前回の方が少し多く時間がかかるのではないかと考えています。

○委員 先ほどの説明ですと、新規の設問のご説明がありましたけれども、今の話を聞くと、実は削られた設問もあるということですね。

○吉住会長 では、部会長お願いします。

○福富部会長 どの位の時間がかかるのかということは、調査する側からすると、大変頭が痛いところです。ただ、この調査はずっと継続的に行われているもので、今回の調査のボリュームは前回と大きく違いはないと私は認識しています。私も仕事から各種の調査を実施したことがあります、特に就学前児童保護者調査は、大変なボリュームです。新宿区民の方はレベルが高いのかなと思いますが、前回とほぼ同じボリュームだということは申し上げたいと思います。

○吉住会長 ありがとうございます。その他、ご質問ございませんでしょうか。

○委員 同じ質問がいろいろなところに出てくるのですが、中学生保護者の17ページの「新宿区の子育て環境をうかがいます」という項目について、前回の部会でもお話が出て、新宿区がこだわっているところだと伺いました。その時にも話題になった問42「今後も、新宿区で子育てをしていきたいと思いませんか。（ひとつに○）」というところで、選択肢2「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」というところだけ、理由の選択肢がその他も含めて4つあります。問41も含とあわせて改めて見ると、当分の間の今いいところを聞きたいのか、当分の間としたマイナス面をピックアップしたいのか、この問42で何を浮かび上がらせたいのかという意図が私には見えてこないもので、教えていただきたいと思えます。

○吉住会長 設問をつくった事務局からお願いします。

○事務局 基本的には前回調査と同様の質問をしていますので、経年的な変化を聞きたいということがひとつです。前回でも一番最後にこの設問がありまして、当面子育ての利便性は高いけれども、子どもが大きくなった時に広い住居の家賃を考えると転出していくなど、現在の満足度と将来の考えを聞きたいということでこのような設問が入っているところでございます。今のご意見は部会でもいただいておりますが、部会でいただいたご意見も今、区で検討しているところです。

○吉住会長 そのほか、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

ただいまいただきましたお二人のご意見も踏まえた上で、成案をまとめていただければと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

最後に、ただいまのご議論を通じまして福富部会長より、ご意見、ご感想をいただきたいと思えます。お願いいたします。

○**福富部会長** 特に最後のご意見は部会でもいただきまして、その後の作業でも検討しているところです。部会の後も私も区役所に参り検討したのですが、問題の積み残しもあります。これは今後も継続して検討していく形です。

最初に申し上げたとおり、経年的な変化を見ることもとても大事なので、今回だけ大きく変えることになると、経年的な情報が得られなくなる。そこで、経年的なものはそのままにしておいて、懸念される問題を新しい設問として付け加えていく形で補正することもひとつの方策かもしれませんが、限られた枠の中での作業となりますので、兼ね合い等々も含めて、検討させていただいているところであります。

最初のご意見で、回答に時間がどれ位かかるのかということにつきましては、大変重要な問題です。ボリュームについてはやむを得ないところもあるのですが、例えば回収率が悪いと思われる若者の意識調査については、ボリュームを少なくするという配慮もなされているのではないかと思います。

大変ごもっともなご意見ばかりですので、どう反映し修正するのかということに、大変頭を痛めているところであります。本当にありがとうございました。

○**吉住会長** 部会長、ありがとうございました。

皆さまから貴重なご意見をいただきましたので、本日いただいたご意見、また部会でのご意見を踏まえて調査票を調整しまして、11月に次世代育成支援に関する調査を実施させていただきたいと思います。調査終了後、結果について次回の協議会にてご報告をさせていただく予定となっております。

最後に、事務局から事務連絡がございます。

○**事務局** 今後の会議スケジュールにつきまして、ご案内させていただきます。

はじめに、次回の部会につきましては、調査結果の速報値を報告させていただくほか、分析や集計等の方針等の検討をお願いしたいと思っております。12月の開催を予定していますが、集計状況により31年1月となる場合もございます。また、本協議会につきましては、31年2月に開催する予定でございます。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

○**吉住会長** 以上で、本日予定をしておりました議事は終了いたしました。

これをもちまして、平成30年度第2回次世代育成協議会を終了いたします。お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございました。

午前11時8分閉会